

## 【 本日のセミナーで新しく知ったこと、勉強になったこと 】

改めて、C型肝炎が100%治る時代が来たんだということを感じました。内服薬のおかげで治療のハードルが低くなってうれしく思います（看護師/病棟）

注射、RFA以外の治療、内服治療ができることを新しく知れて良かった（看護師/急性期病棟）

保健所の活動。同グループにHPの外来看護師が多かったことで、外来での教育や指導など

活発にできる未来がありそうだと嬉しく感じました（看護師/病棟）

治療後も継続的に検査が必要だということ（看護師/消化器内科）

地域での活動は興味がありました（看護師/外来）

高齢者に対する肝炎治療の考え方、変化、肝炎治療の副作用（保健師/健診）

肝炎検査の必要性、HCV抗体陽性は高齢者に多い、掘り起しが重要（保健師/健診）

C型肝炎の最新情報や、臼杵市の取り組みについて勉強になりました（保健師/行政）

平成27年度からのフォローアップ事業（保健師/行政）

新薬の話と新患のほりおこしについて（看護師/肝疾患病棟）

肝硬変の方や肝がん治療後の患者さんにも、経口抗ウイルス薬適用（看護師）

治療の最新情報、フォローアップの重要性（保健師/行政）

今年の夏から秋に向けて、新薬が出るということで、これからも治療の進歩に期待しつつ、行政PHNとして、受検、受診に1人でも多くの人がつながるよう頑張りたいと思います（保健師/行政）

新しい治療法ができたこと、久しぶりに来て良い勉強になりました（保健師/行政）

検診の方法等が勉強になりました（MSW）

自分の病院は肝炎治療に関する周知が十分ではなく、資料も古いものしかないので、せめて資料だけでも最新の情報の更新が必要だと思う（看護師/外来）

掘り起し、5月から2型の内服薬が開始されること、DMには消化器が入った方が良い

臼杵市の取り組みに感銘を受けました（看護師/外来）

内服薬の効果が、こんなにあるのかと思いました。勉強会に参加したことで、知識も増えました（看護師）

今回、初めて参加したので、肝炎について様々な面から学ぶことができました（保健師）

よく理解できました（看護師/外来）

新薬の耐性検査があること、SVR率、副作用の少なさ、B型C型肝炎の掘り起し率について（看護師/外来）

他の病院の活動を知ることができ、大変勉強になりました（看護師/外来）

肝炎の受検率を上げ、受診率向上をはかることで、受療につなげる取り組みをすることは、市民への働きかけが難しいだろうと思った。コーディネーターも同様に、大切なことを働きかけ続け

なければならなかった（看護師/病棟）

B型C型肝炎検査を、地域の検診でオプションではなく、ルーチンで採血できるようになるとよいと思いました。受検が大事と今回のセミナーで再認識した為（看護師/病棟・外来）

外来看護師として、申請書のことなど説明できたらいいなと思いました

C型肝炎治療にいきつくまでの活動が聞けて良かったです（看護師/内科外来）

行政の取り組みについて。コーディネーターの役割について（看護師）

## 【 C型肝炎の最新情報 】

肝炎の最新治療を知ることができました（看護師/外来）

インターフェロンフリー治療について学ぶことができ、とても良かったです（保健師/行政、看護師/外来、看護師/急性期病棟）

高齢者への治療など、参考になりました（保健師/行政）

発がんを防ぐための IFN、経口剤投与の意味をあらためて感じました（看護師/病棟）

4月から始まるフォローアップ事業に向けても、肝炎治療の新しい情報を聞くことができ、大変参考になりました（保健師/行政）

新しい治療法のことを知り、勉強になりました（保健師/行政）

相談者が来られたら、少し自信をもって治療のための受診が勧められそうです（保健師/行政）

新薬で患者さんの治療が良くなればいいと思います（看護師/外来）

前回の分の復習となりました（忘れていたところもありました）（MSW、看護師）

事例紹介があり分かりやすかった（看護師/外来）

わかりやすく勉強になりました（看護師/病棟 保健師）

副作用も含めてデータをみていこうと思った（看護師/外来）

高齢者の方が多く、内服の飲み違いがおきています（朝、夕ともに2剤を内服）。しっかりされている方でも、飲み違いのリスクは高いと思います。特に一人暮らしの高齢者（看護師/外来）

対象が若者→高齢者へ、IFNフリーとてもわかりやすいです（看護師/透析）

今後も定期的に事例報告（中止例など）を聞きたいです（看護師）

肝がん治療後のウイルスを駆除することで、20年生存率が77%と高いことに驚きました。ウイルスをなくす治療をすることが大切だと思いました（看護師）

自院でも、治療後2~4週間後に、ほぼ全員がウイルスがなくなった反面で、肝機能が↑した方もいます（看護師）

現在の治療の方向が学べてよかった。C型肝炎の治療は進んでいる（看護師）

最新の薬剤について知ることができ、とても勉強になりました（保健師）

## 【 事例1：行政保健師の役割 】

行政の活動がよくわかった(保健師/健診、 看護師/病棟)

行政との連携の大切さがわかりよかったです(看護師/急性期病棟)

とても参考になりました(保健師/行政)

積極的な取り組みをしておられて、とても参考になりました(保健師/行政)

私も保健師という立場として、行政活動を知っていただく良い機会だったと思います(保健師/行政)

肝炎教室はとても参考になりました(私の市では実施していないので)とても素晴らしいと思います(保健師/行政)

同様の検診を行っています(保健師/行政)

検診について、あまり知らなかったので勉強になりました(MSW)

臼杵のまちおこしに力を入れていることがわかった(看護師/外来)

とても良い取り組みで、予防活動は素晴らしいと思いました(看護師/外来)

肝炎教室、介入がとても大切だと思いました(看護師/透析)

臼杵市の活動を知り、活発な活動をしていて、当HPでも行っていきたいと思いました(看護師/外来)

臼杵市独自の取り組みをされており、とてもよいと思いました(看護師/外来)

無料検査や受検に向けての連動が、とても素晴らしいと思います。臼杵市民の方がうらやましいです。DMと肝臓のつながりもある為、DMの取り組みも参考になりました(看護師)

受検をすすめるための取り組み、お疲れ様です(看護師/病棟)

新たな活動分野を感じ、今後に期待が膨らみました(看護師/病棟)

同じ行政として、とても参考になる取り組みでした。肝炎教室で市民に知識提供することは大事だと思いました(保健師)

糖尿病の連携も、とても参考になります。肝臓の方も力を入れられていて、素晴らしいと思います(看護師/外来)

## 【 コーディネーターへ期待すること 】

コーディネーター以外にも知識の普及を

市民を対象にした活動みたいなものが出来れば良いと思う(予防的なもの)

病院スタッフ(消化器内科の患者さんに関わる方)に対する学習会

受検、受療の説明から受療後のフォロー、説明など

コーディネーターとして、患者の受診をつなげていくこと

## 【 事例 2 : 院内における肝炎スクリーニング検査の現状 】

治療後の方にも、C抗体陽性になることがわかり、データをよくみていこうと思いました（看護師/内科外来）

病院内での取り組みについて知る機会がほとんどないため、勉強になりました（保健師/行政）

掘りおこし後、追跡をすることで、今後のコーディネーターとしての活動にも生かしていけるのではないかと感じました。とても参考になりました（保健師/行政）

陽性者に対してのフォローが大事。コーディネーターの役割がわかりやすかったです。すばらしい活躍をしておられると思います（保健師/行政）

具体的な取り組みがわかり、掘り起しの大切さがわかりました（MSW）

今後も調査を続けていくと、違いがわかるのではと思いました（MSW）

肝炎スクリーニングを行うことで、肝炎ウイルス検査について周知してもらえる機会になったと思う（看護師/外来）

病院として取り組むことで、コーディネーターとしての役割機能が果たせるということを感じた。多職者との連携の大切さ、ネットワーク作りをすることで受検、受診へとつなげていけるとわかった（看護師/外来）

同じ別府市で、専門医の下で活動できてうらやましい（看護師/外来）

肝炎スクリーニング検査による掘り起しは難しいと思った（看護師/外来）

自分がB型かC型かわからないという現状を知ることができ、また掘り起しが大切だとわかりました（看護師）

通常入院時、他科でも検査をしているか確認してみようと思いました（看護師/外来）

肝機能障害のある人に対して、スクリーニングする大切さがわかりよかったです（看護師）

患者さんへのアンケートは、受検から受診へ向けての取り組みとして、とてもよいとわかり参考になりました（看護師）

掘りおこしをすることで、肝炎患者さんの治療につながるものがとても勉強になりました（看護師/病棟）

実際に掘り起しのデータなどを聞いて、自院に持ち帰り患者を見直してみようと思った（看護師/病棟）

まず受診、早期発見、受療の取り組みの構築が、自院でもできると良いなと…（看護師/病棟）

掘りおこし、フォローアップの状況について知ることができました（保健師）

まだまだ、たくさんの方が陽性であることを知らなかったり、未治療の方がいるんだろうなと思います。少しでも多くの方が治療できるといいと思います（看護師/外来）

抗原抗体検査が陽性の場合、HCV-RNA検査をできるだけ早く行い、その結果から方針を決めていく必要があると思いました（看護師）